

式辞

春の訪れを告げるやわらかな光が、緑豊かな山々の稜線からこの高台の学び舎にふりそそぐ今日の佳き日に、御来賓の皆様の御臨席を賜り、令和七年度愛媛県立野村高等学校第七十七回卒業証書授与式を、かくも盛大に挙行できますことを、心より御礼申し上げます。

保護者の皆様、本日はお子様の御卒業、誠におめでとうございます。日々温かく支え、励まし、見守ってこられたご労苦に深く敬意を表しますとともに、本校教育に対する御理解と多大なる御支援・御協力を賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。

卒業生の皆さん、卒業おめでとう。皆さんは、入学以来、本校の校訓「美しく 新しく 逞しく」の下、教科の学習はもとより体験学習や実習、地域との連携活動などにおいて、多様な学びに主体的に取り組んできました。創立八十周年という節目に立ち会ったこと、この春開園を迎える「のむこうふれあい動物園」の整備に関わったこと、プロジェクト型探究活動では地域の方々と共に、地域課題の解決に向けて努力したこと、さらにはテレビをはじめとするメディアに取り上げていただける活動を通して、市内はもとより県内外の中学生に本校をPRしてくれたことなど、皆さんが残した成果は枚挙にいとまがありません。その一つひとつの経験を通して、皆さんは、協働する喜びを知り、他者を思いやる心を育み、この三年間で大きく成長しました。

今、私たちを取り巻く社会は、急速な技術革新と価値観の多様化が進み、将来の予測が困難な時代となっています。このような時代にあっては、互いを思いやり、支えあいながら学ぶ姿勢は、皆さんの大きな力となるはずです。しかし、社会の荒波の中で立ちのぼる課題を乗り越えていくためには、それに加えて「自ら学び続ける姿勢」と自らの意志で未来を切り拓く「積極性」を備えることが重要です。

古くから「チャンスの神様には前髪しかない」と言われます。これは、好機とは、正面から向き合った時にしかつかむことができず、通り過ぎてからでは手が届かない、という教えです。皆さんがこれから歩む道には、数多くの出会いと選択が待っています。小さな一歩であっても、自ら踏み出すことで初めて見える景色があります。その一つひとつをしっかりと捉え、どうか臆することなく向き合い、自らの手で未来を切り拓いてください。

もちろん、すべてが順調に進むわけではありません。失敗や挫折に心が折れそうになることもあるでしょう。そんなときは、一人で抱え込まず、周囲に相談し、頼ってください。皆さんの周りには、家族や友人、先生、人生の先輩たちがいます。人に頼

ることは決して弱さではありません。皆さんが生き続けていくための、未来へと進むための大切な力です。校訓にあるように「美しく 新しく 逞しく」生きるためにも、自らを孤立させることなく、人との関わりを大切にしながら、まずは自分自身を大切にしてください。

皆さんの卒業は、一つの終わりではなく、新たな始まりです。この野村高校で見せてくれた輝く笑顔を忘れず、社会でさまざまな経験を積んで逞しく成長した皆さんとの再会を、心より楽しみにしています。

どうか、お身体を大事に、命を大切に、卒業生の皆さんの今後の御活躍と御多幸を祈念して、門出を祝う式辞といたします。

令和八年三月一日

愛媛県立野村高等学校長 松井 由紀子